

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第1回豊川警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月9日（金） 午後3時から午後4時57分までの間 ----- 豊川警察署講堂
出 席 者	1 委員 廣田篤会長                      櫻井智科子副会長 伊藤正幸委員                    村上幸治委員 竹本智委員                        梅村賀代子委員 岩瀬崇典委員                    紋田栞里委員  <div style="text-align: right;">以上8名（定数10名）</div> ----- 2 警察署員 石川署長                      鞠川副署長                      近藤警務課長 與語会計課長                    山本生活安全課長                田中地域課長 増田刑事課長                    塩原交通課長                    秋吉警備課長  <div style="text-align: right;">以上9名</div> ----- 3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	豊川警察署に望むこと
答 申 等 の 概 要	1 不審者情報の積極的な発信 2 自転車利用者に対する交通事故抑止対策
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月23日

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。
2	新委員挨拶
3	会長及び副会長の選出
	委員の互選により廣田委員を会長に選出し、会長は櫻井委員を副会長に指名した。
4	会長、副会長挨拶
5	署長挨拶
6	署幹部紹介
7	前回答申に対する具体的施策の推進状況（交通課長説明）
	(1) 諮問事項
	交通死亡事故など重大事故の発生抑止対策
	～ 年末年始における交通事故防止対策について～
	(2) 答申事項
	ア 車両対策
	○ 「16時からライト点灯」を各団体を通じて啓発。
	○ インパクトのある「飲酒運転根絶」ポスターを飲食等へ掲示依頼。
	イ 自転車対策
	「ヘルメット着用について」高校生の意識調査
	ウ 歩行者対策
	○ 「ヒヤリハット」や「KYT」等の体験を基にした交通安全教室の実施。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
○ 抜け道対策	
(3) 推進施策	
ア 答申事項アについて	
○ 早めのライト点灯を促す1月は「16時からライト点灯」及び「インパクトのある「飲酒運転根絶」の啓発については、それぞれについて啓発ポスターを作成し、管内商業施設などのデジタルサイネージで広報を行っている。	
○ 「飲酒運転根絶」ポスターは市内各飲食店に掲示を依頼した。	
○ 「早めのライト点灯」や「飲酒運転根絶」について記載した啓発チラシ「1月の交通事故のポイント」を商工会を通じて企業に配布した。	
○ 一般企業に対して交通講話を通じた啓発活動を実施した。	
イ 答申事項イについて	
○ 市内の中学校、高校の2年生を対象に「ヘルメットの着用について」の意識調査を実施した。結果を分析して「ヘルメット着装」の啓発に努めていく。	
○ 3月に中学生との自転車利用に対する懇親会を実施予定。	
ウ 答申事項ウについて	
○ 高校生対象の交通安全教室で「駐車場から出ようとする車両がいる場合」等の「危険予知トレーニング」を実施した。高校3年生が対象の交通安全教室であったことから、運転免許取得のために自動車学校へ通っている生徒も多く効果的であった。	
○ 歩行者保護の観点から行う「抜け道対策」については、朝夕に警戒	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
班を設けて、パトカーで赤灯を点灯し警戒を実施している。	
8	令和6年速度取締指針に関する説明（交通課長説明）
9	諮問
	(1) 諮問事項
	豊川警察署に望むこと
	(2) 諮問事項の設定理由（警務課長説明）
	ア 現状を分析し地域有識者のニーズを把握することにより、警察署運営の方向性を明確にする。
	イ 協議の結果を踏まえ、今後の協議をより充実したものにする。
10	協議
委員	・ 警察は安全安心を見ていかなければならず、豊川署としての今年一年の方向性を決めないといけない。協議会は一般市民の視点、立場で意見を出さないといけない。
委員	・ 学校では子供たちの交通事故を心配している。学校内でも交通安全教育をしているが、警察でも子供を対象とした交通安全教育を行ってほしい。
委員	・ 子供たちが下校する夕刻に子供に対する声掛けや盗撮が多い。子供たちは怖がっている。警察に不審者目撃通報はあるのか。
警察	・ 学校の先生から連絡が来る。連絡を受けたら機を失することなくパトネットあいちで情報発信している。市のきずなネットでも同じ情報を配信している。
委員	・ 交通事故防止にはパトロールや広報に加えて学校への働きかけが
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
必要だと思う。	
委員	・ 困りごとを警察に気軽に相談できる環境を整えてもらいたい。警察は遠い存在に感じてしまい、相談しづらい。
警察	・ 愛知県警では全ての警察署に住民サービス係があり、囑託員を配置している。住民サービス係の業務では相談者の不安を解消したり、アドバイスをする。事件の端緒を得ることもあり、捜査の必要があれば担当課に引き継いでいる。
委員	・ 交番へ相談に行ったことがある。どんなレベルの内容なら相談していいのか発信してほしい。
委員	・ 警察へ行くのは最終手段だと思っている。
委員	・ 愛知県警のホームページを見て思ったが、あまり情報が出てこない。刑法犯認知件数を見ても具体的な内容が見えてこない。内容によって取るべき対策が変わるのではないか。
委員	・ 速度取締りについては、取り締まることよりも速度を出させないための対策を取ることが必要なのではないか。
委員	・ 不審者の出没や犯罪発生の増加は、近隣住民の近所付き合いの希薄さも影響していると思う。心の閉鎖的な状況が犯罪を増加させているのではないか。
委員	・ 情報発信が知られていない。広く周知することが効果的である。情報が広く伝わるように、工夫した広報活動を行ってほしい。
委員	・ 私が住む地域は以前は田畑が多かったが、最近では新しい住宅が増えてきた。環境が変化し一時停止や横断歩道が必要な場所もある。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
標識なども含めて見直しを図ってほしい。	
委員	・ 自転車乗車用ヘルメット着用促進補助金の申請用紙が市役所に行かないともらえない。自転車屋などでも配布されたら便利だと思う。
委員	・ 高校生の約半数が自転車乗車用ヘルメットを持っていないと聞いたが、自転車乗車用ヘルメット着用促進補助金の申請用紙を学校に配布して先生に配ってもらえばいいのではないか。
委員	・ パトカーが赤色灯を点灯して巡回しているのをよく見かける。交通違反の取り締まりもよくやってもらっているが、いつも同じ場所で取り締まっている。場所を変えることも必要なのではないか。
委員	・ 子供たちの安全を守るために15時から17時の巡回を強化してほしい。
委員	・ 警察はいい人材を確保してほしい。
11 答申	
(1) 不審者情報の積極的な発信	
(2) 自転車利用者に対する交通事故抑止対策	
12 その他	
次回の開催予定は、令和6年5月23日とする。	
記録者	警務係長